令和6年度（2024年度）モニタリングシート

施設名	第八小 学童保育所

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価(コメント)	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価(コメント)	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価(コメント)	所管課期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置(常勤数、非常勤数、加配数)・放課後児童支援員	出席児童数に見合った職員配置であるか。また、放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか 【日報】	B	職員配置及び放課後児童支援員は適正である。	B 登所人数に対して適正配置を実施し、配置不足になる場合は他施設に応援を依頼し、配置不足解消に努めた	B		B 適切な配置をしている	B		B 過不足なく配置 不足している施設に自施設職員を派遣し、組織全体で適正配置に努めている。	B		B 過不足なく配置 不足している施設に自施設職員を派遣し、組織全体で適正配置に努めている。
	定量的	月報(学童保育状況報告書)・日報(育成日誌兼業務記録)を作成しているか		A	月報、日報は適切に作成している。日報の裏面には法人独自のミーティングノート及び連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、児童の様子を詳細に記録することで、職員共通の認識、児童への対応や保護者への適切な対応に活用している。また、詳細に記載された保育活動や特記事項などについて、本部職員のコメントも記されており、法人全体で日々の保育活動の振り返りがなされている。	B 所長確認後、月ごとに担当主査、課長補佐、課長が確認している	A	月報、日報は適切に作成している。日報の裏面には法人独自のミーティングノート及び連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、児童の様子を詳細に記録することで、職員共通の認識、児童への対応や保護者への適切な対応に活用している。また、詳細に記載された保育活動や特記事項などについて、本部職員のコメントも記されており、引き続き法人全体で日々の保育活動の振り返りが恒常的に行われている。	B 月報は月末に、日報は毎日適切に作成し、所長確認後、主査、課長補佐、課長が確認をしている。	A	月報、日報は適切に作成している。日報の裏面には法人独自のミーティングノート及び連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、児童の様子を詳細に記録することで、職員共通の認識、児童への対応や保護者への適切な対応に活用している。また、詳細に記載された保育活動や特記事項などについて、本部職員のコメントも記されており、引き続き法人全体で日々の保育活動の振り返りが恒常的に行われている。	A 適切に作成している。また、日報の裏面にはミーティングノートを作成し、担当業務の明確化、児童の様子を記録することで、職員共通の認識、児童対応や保護者への適切な対応に活用している。	A	月報・日報は適切に作成されており、日報の裏面には法人独自のミーティングノート及び連絡ノートが活用されている。これにより、担当業務の明確化や児童の様子の詳細な記録が可能となり、職員間での共通認識の形成や、児童・保護者への的確な対応に役立てられている。また、保育活動や特記事項については、本部職員からのコメントも記載されており、法人全体で日々の保育を振り返る体制が継続的に整えられている点を評価した。	A 適切に作成している。また、日報の裏面にはミーティングノートを作成し、担当業務の明確化、児童の様子を記録することで、職員共通の認識、児童対応や保護者への適切な対応に活用している。
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B	適正かつ明確化が図られている。	B 問題なし	B		B 問題なし	B		A 学童保育事業の銀行口座、会計帳簿等経理については、全て独立して適正に本部で管理、明確化している。資金の入出金の際には、通帳記入し資金の管理を徹底している。	B		A 学童保育事業の銀行口座、会計帳簿等経理については、全て独立して適正に本部で管理、明確化している。資金の入出金の際には、通帳記入し資金の管理を徹底している。
			延長利用料金の徴収は適正に行われているか 【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】	B	適正に徴収されている。	B 問題なし	B		B 延長保育利用状況表を作成。毎月末には利用者名と利用料金を複数職員で確認し、さらに利用者に確認後徴収している。保護者に利用状況表を渡し、確認印を頂いている。	B		A 施設から月ごとに提出する延長利用状況表に基づき本部で手続きし、2か月ごとに口座振替にて徴収。延長保育料だけの専用の口座で適正に管理。未徴収の場合は施設が現金で徴収。徴収後は領収書と現金を本部へ提出し、本部職員が延長専用口座に振込、領収書は本部で適正に保管、管理している。	B		A 施設から月ごとに提出する延長利用状況表に基づき本部で手続きし、2か月ごとに口座振替にて徴収。延長保育料だけの専用の口座で適正に管理。未徴収の場合は施設が現金で徴収。徴収後は領収書と現金を本部へ提出し、本部職員が延長専用口座に振込、領収書は本部で適正に保管、管理している。
		収支計画が適正であること	給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか 【給与規程・賃金台帳・事業計画書(収支計画)・事業報告書】	B	適正に執行されている。	B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし
	定性的	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか 【研修件名・内容】	A	法人内で研修委員会を組織し、独自の研修内容を策定している。保育実践研修、応急救護研修等をはじめ、全所長を対象とした全体研修など経験年数や職層に応じた様々な研修を計画的に実施し受講している。また、入退室管理システムを活用したオンライン研修も職員個人が空いた時間を有効活用して受講しており、職員全体の資質向上に努めている。	A コドモンカレッジ職員研修にて全職員が動画研修を行った ブロック別保育実践研修(事例検討会)や応急救護研修も実施している	A	法人内で研修委員会を組織し、独自の研修内容を策定している。保育実践研修、応急救護研修等をはじめ、全所長を対象とした全体研修など経験年数や職層に応じた様々な研修を計画的に実施。入退室管理システムを活用したオンライン研修も職員個人が空いた時間を有効活用して受講している。また、施設の運営状況の見直しや、改善点を明確にすること目的とした自己評価シートを活用するなど、引き続き職員の資質向上と運営スキルの向上に努めている。	A・職員研修(新人研修、社会人基礎)・保育実践研修(事例検討会)・集合研修・施設の自己評価シートを活用(定期的に自己評価を行い、施設の運営状況を見直し、改善点を明確にすること目的として実施)	A	法人内で研修委員会を組織し、独自の研修内容を策定している。保育実践研修、応急救護研修等をはじめ、全所長を対象とした全体研修など経験年数や職層に応じた様々な研修を計画的に実施。入退室管理システムを活用したオンライン研修も職員個人が空いた時間を有効活用して受講している。また、施設の運営状況の見直しや、改善点を明確にすること目的とした自己評価シートを活用するなど、引き続き職員の資質向上と運営スキルの向上に努めている。	A 研修委員会を組織し、研修内容を策定。 ・服務事故防止のため、セルフチェックを実施(全職員) ・オンライン研修(社会人基礎、安全・衛生管理) ・ブロック別保育実践研修(事例検討会) ・応急救護研修 ・集合研修参加(「11月体を動かす遊び」所長が講師)	A	法人として、研修委員会を組織し、保育実践研修や応急救護研修、全体研修など、職層や経験年数に応じた研修を計画的に実施している。また、入退室管理システムを活用したオンライン研修により、職員が空き時間を活用して学べる環境も整備されている。さらに、施設運営の見直しや改善点の明確化を目的とした自己評価シートの活用を通じて、職員の資質向上と運営スキルの強化に継続的に取組んでいる点を評価した。	A 研修委員会を組織し、研修内容を策定。・アレルギー対応マニュアルの読み合わせ、エピペン使用方法についてロールプレイング研修を実施 ・オンライン研修(社会人基礎、安全・衛生管理、重大事故防止) ・保育実践研修(事例検討会) ・ブロック別保育実践研修(事例検討会) ・集合研修(2月健康を保ってユーモアのある保育を～子どもにこんなことを言われたら所長が講師) ・SDGs全体研修「子どもが主役の学童保育所」
			保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか 【事業計画書・日報・ヒアリング等】	B	年度途中の職員配置の変更は行われず、安定的かつ継続的に職員が配置されている。	B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例:財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし
			業務の一括委託が行われていないか 【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	協定書で定める範囲内で定期清掃、非常通報装置等、業務の委託が適切に行われている。	B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか		B	適切に処理されている。	B 受け取り後、すぐに処理し、放課後児童支援課へ提出 重要書類の授受には受領書を発行	B		B 受け取り後すぐに処理し、学校連絡便を主に利用し、放課後児童支援課へ提出している。 重要書類の授受には受領書を発行している。	B		B 受け取り後すぐに処理し、学校連絡便を主に利用し、放課後児童支援課へ提出している。 重要書類の授受には受領書を発行している。	B		B 書類受理後、学校便や通常の連絡便で提出している
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開所日数、開所時間は守られていたか 【日報、月報・事業報告書】	B	開所日数、開所時間は守られている。	B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B	ファイル基準表に基づき、適切に文書の管理・保存が行われている。	B 問題なし	B		B 問題なし	B		A ファイル基準表に則り適切に管理保存をしている	B		A ファイル基準表に則り適切に管理保存をしている
			設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか 【事業報告書・実地調査】	B	日常清掃をはじめ、各種機器の保守点検が行われている。	B 問題なし	B		B 問題なし	B		A 災害時に持ち出す避難リュックの点検と補充をし、ヘルメットの清掃をおこなった。	B		A 施設の清掃は日々行っている。書類の整理整頓、遊具の修繕も行っている。
			備品の管理が適切に行われているか 【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B 問題なし	B		B 問題なし	B		A 備品シールにて通番管理、備品管理簿にて適切に管理している。	B		A 備品シールにて通番管理、備品管理簿にて適切に管理している。
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者の満足度3.0 【利用者満足度調査】											A	利用者の満足度は、全項目3.0以上、平均3.67だった。保護者への対応や子ども達が楽しめる取り組みが評価されと感じる。	A 利用者の満足度は、全項目3.0以上、平均3.67だった。保護者への対応や子ども達が楽しめる取り組みが評価されと感じる。
	定性的	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか		B	児童の情報共有や安全対策を双方で連携・協力して行い、放課後子ども教室開催時には積極的に参加している。	B 放課後子ども教室の運営団体と協力し、子ども達が利用しやすいように良好な関係を築いている	B		B 放課後子ども教室の運営団体と協力し、子ども達が利用しやすいように良好な関係を築いている。	B		B 放課後子ども教室の運営団体と協力し、子ども達が利用しやすいように良好な関係を築いている。	B		A 日々放課後子ども教室と協働し、活動している。
		利用者からの苦情処理の体制がとれていること	苦情解決の体制(解決責任者の設置・受付担当者の設置)を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件について記録簿を作成し、ミーティング時に職員間で共有できるよう適切に対応されている。	B 苦情や相談案件について記録簿を作成し、ミーティング時に職員間で共有できるよう適切に対応されている。長期休業期間中、早朝保育や外部事業者の昼食提供の対応など、保護者支援の一環としての取り組みが行われている。また、夏の宿泊キャンプでは現地からリアルタイムで児童の様子を保護者へ配信しており、オンラインや対面での保護者とのつながりを大切にした保育を行っている。	B		B 玄関に苦情相談窓口の連絡先を掲示 相談や苦情は速やかに対応し、苦情受付書を作成、職員間で共有し、再発防止に努める	B		A 苦情対応の体制を整え、苦情や相談について記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有している。	B		A 苦情対応の体制を整え、苦情や相談について記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有している。
		利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	保護者(会)とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか 【おたより、連絡帳】	A	入退室管理システムを導入し、児童の入退室情報だけでなく、保護者との連絡ツール、児童の様子や保育活動について発信する等、有効に活用されている。また、今年度よりお弁当の宅配サービスを活用し、保護者のお弁当作りの負担軽減につながる取組みが行われている点を評価する。	A ICTシステム(コドモン)を導入。 コドモンからお便りや情報を発信。	A	保護者会、おたよりやアプリを使い、保護者へ児童の様子や活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。長期休業期間中、早朝保育や外部事業者の昼食提供の対応など、保護者支援の一環としての取り組みが行われている。また、夏の宿泊キャンプでは現地からリアルタイムで児童の様子を保護者へ配信しており、オンラインや対面での保護者とのつながりを大切にした保育を行っている。	A 早朝保育(7:30～8:00)を実施。就労支援、小1の壁の解消、利便性の向上につながる取り組みとなった。・キャンプ中の様子をリアルタイムで配信、オプションメニューの動画を配信。	A	保護者会、おたよりやアプリを使い、保護者へ児童の様子や活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。長期休業期間中、早朝保育や年末保育、外部事業者の昼食提供の対応など、保護者支援の一環としての取り組みが行われている。また、入退室管理システムを利用しての保育活動の紹介や、児童の様子を保護者へ配信しており、オンラインや対面での保護者とのつながりを大切にした保育を行っている。	A 保護者支援、コミュニケーションづくりの一環として ・早朝保育(7:30～8:00)を実施 ・年末保育(12月30日、31日を実施 ・外部事業者の昼食提供 ・児童の個人面談 学童まつりを実施した。・入退所管理システムを利用して活動内容を紹介した。 ・玄関の掲示板	A	保護者会の開催やおたより、アプリを活用し、児童の様子や活動内容を定期的に発信することで、保護者との円滑なコミュニケーションを図っている。長期休業期間中には、早朝保育や年末保育、外部事業者による昼食提供など、保護者支援を目的とした取組も行われている。また、宿泊キャンプや行事では、児童の様子をリアルタイムで配信したり、アプリを通じて保育活動を紹介するなど、オンライン・対面の両面から保護者とのつながりを大切にした保育を実践している点を評価した。	A保護者支援、コミュニケーションづくりの一環として ・早朝保育(7:30～8:00)を実施 ・年末保育(12月30日、31日を実施 ・外部事業者の昼食対応 ・子ども個人面談 ・学童まつり、ミニサッカー大会の交流行事等を実施した。 ・入退所管理システムを利用して活動内容を紹介 ・玄関の掲示板にて活動内容の紹介
		学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか 【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	A	学校とは、日頃から児童の情報共有を行い、学習面において、宿題の実施状況の情報提供があれば、学童内で宿題の実施を促すなど協力関係が構築されている。また、学校運営協議会と協力し、「桜サロン」と呼ばれる、幼児が遊べる場、地域における子育て相談ができる場を学童保育所の一室を開放し、提供しており、学校及び地域との良好な関係による取組みを評価する。	A 学童協と協力して、学校公開日に「桜サロン」を開催。幼児が遊んで過ごせる場所や在籍児童保護者に限らず、気軽に子育て相談ができる場所を設置している。	A	学校とは、日頃から児童の情報共有を行い、良好な協力関係が構築されている。また、学校運営協議会と協力して「桜サロン」を開催。在籍児童保護者の子育て相談や、幼児が遊んで過ごせる場所を兼ねそろえた就学前の学童入所相談等、地域における子育て相談ができる場を学童保育所の一室を開放して提供している。学校や地域とつながる学童保育所運営が行われている。	A 学童協と協力して、学校公開日に「桜サロン」を開催。幼児が遊んで過ごせる場所や在籍児童保護者に限らず、気軽に子育て相談ができる場所を設置している。	A	学校とは、日頃から児童の情報共有を行い、良好な協力関係が構築されている。町会、地域青少年関係団体への所属、子ども家庭支援センター、児童相談所といった関係機関との連携も図られている。学童まつりなどの行事では、地域の方や保育園、小学校、招待して交流を図るなど、学校や地域とつながる学童保育所運営が行われている。	A セガサミー野球部の野球教室の実施 イベントの実施 ・小学校との情報提供・共有 ・保育園、小学校、地域を招待した学童まつりの実施 ・町会、地域青少年関係団体への所属・子ども家庭支援センター、児童相談所との連携 ・地域清掃を小学校と実施。	A	学校とは日頃から児童に関する情報共有を行い、宿題の実施状況に応じた支援など、学習面でも協力体制が築かれている。また、学校運営協議会と連携し、学童保育所の一室を開放して「桜サロン」を開催。幼児が安心して遊べる場や、保護者が子育て相談を気軽に行える場を提供している。さらに、町会や地域関係団体、子ども家庭支援センター、児童相談所との連携も図られており、学童まつりでは保育園や小学校、地域住民を招いて交流を深めるなど、地域の特性を活かした特色ある行事が計画的に実施されている点を評価した。	A ・小学校との情報提供・共有 ・町会、地域青少年関係団体への所属 ・子ども家庭支援センター、児童相談所との連携実施。
施設の効率的な管理・運営が行われ、経費の節減が図られているか	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム(H－EMS：ヒームス)」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等】	B	節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した取り組みがなされている。また、SDGs17の目標のうち、「パートナーシップで目標を達成しよう」に着目し、自己決定できる力を養う取組みが見られる。	B 問題なし	B		B 問題なし	A	節電・節水、紙のリサイクル、おやつの空き箱の工作利用など環境に配慮した取組みがなされている。家庭で不要になった玩具類から衣類に至るまで、保護者から譲り受け、保育活動を行う上で有効活用に取り組んでいる。	A ペットボトルキャップを利用し、遊びの中から環境について学ぶ 機会を作った。 ・家庭で不要になった玩具類から衣類に至るまで、保護者から譲り受け、保育活動を行う上で有効活用をした。	B		A 普段使用している紙について、動画でリサイクルや環境について学ぶ 機会を保育活動として取り組んだ。また、戸吹清掃員とともに、ゴミの減量とリサイクルについてのイベントを開催した。
事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか 【行事計画書、行事参加者名簿】		B	計画どおり実施されている。	B 学校休業日の手作り昼食(カレーライス作り)など、計画通りに実施されている	B		A 3年生の対象に宿泊キャンプを実施。オプションメニューとしてカヌー体験を取り入れ、自然との触れ合いやチームワークを学んだ。 学校休業日の手作り昼食(カレーライス作り)など、計画通りに実施されている。	B		A 警視庁が出している防災についての動画を見ながら、防災訓練について学んだ。	B		B 問題なし
		防災訓練等(地震、火災、不審者、交通ルール等)は事業計画どおり実施されているか		B	地震又は火災を想定した避難訓練等は計画的に実施されている。	A 不審者情報などは、コドモンICTシステムから保護者へ即座に情報提供が出来ている	B		A 不審者情報などは、コドモンICTシステムから保護者へ即座に情報提供が出来ている。	B		A 不審者情報などは、コドモンICTシステムから保護者へ即座に情報提供が出来ている。	B		B 問題なし
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか 【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	個人情報取り扱いにおけるマニュアルを整備し、施錠付きの書庫で保管するなど必要な措置が講じられている。	B 鍵のかかる保管庫で保存をしている	B		B 鍵のかかる保管庫で保存をしている	B		B 鍵のかかる保管庫で保存をしている	B		B 鍵のかかる保管庫で保存をし、事務室も施錠している。またPCを開く際、ピンコードを入力しないと開かず、閲覧できないようにしている。
		緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【保険証券】										B	保険の加入は適切である。	B 問題なし
			事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順(マニュアル)等を明確にし、体制が整えられているか 【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	万が一の事故や災害に備え、適切に対応できるようマニュアル類の整備及び連絡体制が整えられている。	B 問題なし	B		B 問題なし	B		A 事故や災害に備え、適切に対応できるよう危機管理マニュアルを策定。 毎日、ミーティングにて出入口担当、自衛消防(避難誘導、通報連絡、初期消火、応援救護)の担当者を配備し、防犯・災害時の担当を明確にしている。	B		A 事故や災害に備え、適切に対応できるよう危機管理マニュアルを策定。 毎日、ミーティングにて出入口担当、自衛消防(避難誘導、通報連絡、初期消火、応援救護)の担当者を配備し、防犯・災害時の担当を明確にしている。
			事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか 【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	事故事例等は法人内の安全対策委員会が中心となり全体へ共有し、発生原因の検証や、対応策について検討している。また、事故を未然に防ぐため、ミーティング時にはマニュアルを活用し、各施設で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。	B 全体で安全対策委員会を組織し、事故防止やヒヤリハットの取り組みをおこなっている	B		B 全体で安全対策委員会を組織し、事故防止やヒヤリハットの取り組みをおこない、その後の検証もしている。	B		A 全体で安全対策委員会を組織、委員会ニュースを発行。 ヒヤリハット事例の分析と対策、事故防止・対応について全職員に共有し、意識啓発に取り組んでいる。	B		A 全体で安全対策委員会を組織、委員会ニュースを発行。 ヒヤリハット事例の分析と対策、事故防止・対応について全職員に共有し、意識啓発に取り組んでいる

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されており、良好である。 法人の基本方針である「安全・安心・遊び」に基づいた保育目標を設定し、児童の健やかな成長を支える多様な活動に取組まれている。特に、3年生を対象としたキャンプ行事では、食事作りやカヌー体験などを通じて、自らの力で挑戦し、仲間と協力する体験活動を提供しており、児童及び保護者の満足度も高い。 また、職員の応援体制や課題発生時の組織的な対応、保育行事や職員研修を法人の枠を超えて近隣施設と連携して実施する姿勢は、公の施設の管理運営に対する高い意識として評価する。 本施設は、学校運営協議会と連携して、幼児が安心して遊べる場や、子育て相談ができる場を提供、学童入所相談窓口を設置したり、学童まつりでは保育園や小学校、地域住民を招いて交流を深めるなど、学校・地域との関係が構築できている。 今後も、保護者、学校、地域の関係機関との良好な関係を保ち、設置趣旨に沿った効率的・効果的かつ安定的な学童保育の運営を期待する。